

# 北海道浮魚ニュース

平成 25 ( 2013 ) 年度 7 号

2013 年 7 月 1 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 日本海スルメイカ漁場一斉調査結果

6 月 19 日 ~ 26 日の期間、北海道渡島大島周辺から積丹半島西方沖にかけての日本海で、函館水産試験場調査船金星丸 ( 151 トン、イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備 ) により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

**調査海域のスルメイカ分布密度は檜山海域沿岸で高かった。後志海域の分布密度は過去 3 年に比べ低い。魚体サイズは昨年より小さく一昨年より大きい。**

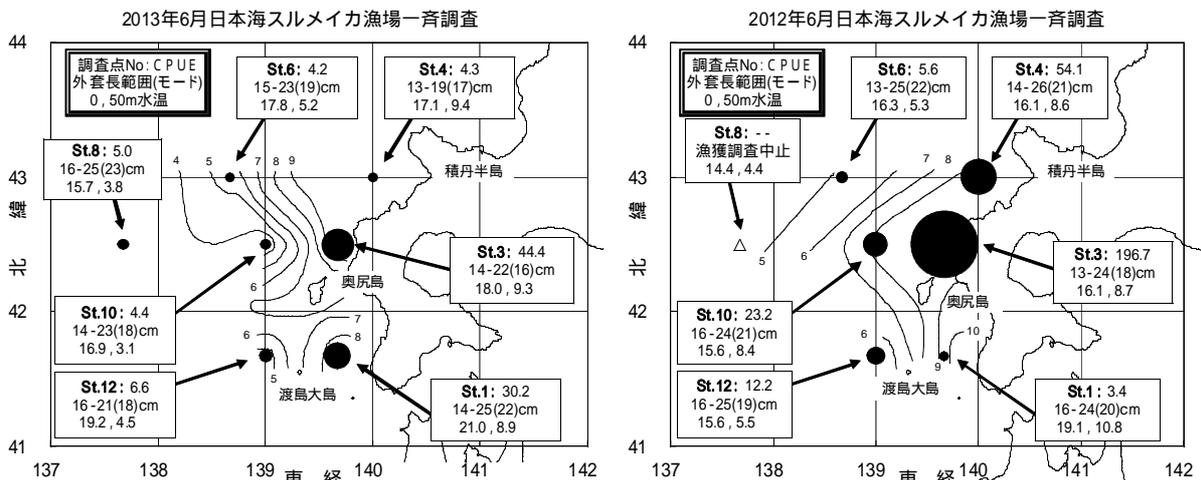


図 1 スルメイカ漁獲調査結果 ( 2012 年との比較 ) 。 黒丸は漁獲調査点を示し面積は CPUE に比例。△は漁獲調査中止。等温線は水深 50m の水温 ( )

### 1 . 水温分布 ( 図 1 )

漁獲調査点 7 点の表面水温は 15.7 ~ 21.0 ( 昨年 14.4 ~ 19.1 ) で、すべての調査点で昨年を上回りました。水深 50 m の水温は 3.1 ~ 9.3 ( 昨年 4.4 ~ 10.8 ) で、瀬棚沿岸 St.3 及び島牧北方 St.4 の 2 点を除いて昨を下回り、全体として表面と 50 m 水深の水温差が昨年に比べ大きい傾向が見られました。

スルメイカの分布の目安となる水深 50m 層の水温分布は、昨年の調査では見られなかった水温 4 を下回る海域が調査海域の西側沖合に広く見られ、奥尻島以南の海域でも全体的に昨年より 1 ~ 2 程度水温が低くなっていました。一方、瀬棚沿岸から後志周辺にかけての海域では、昨年より水温が高い傾向が見られました。

### 2 . 分布密度 ( 図 1 、 表 1 )

漁獲調査点 7 地点の CPUE ( 2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数 ) の平均は 14.2

表1 2013年及び過去3年6月漁場一斉調査の地点別 CPUE

調査点	北緯	東経	概要	2010	2011	2012	2013	過去3年
St.1	41-40	139-40	上ノ国沖	26.7	46.5	3.4	30.2	25.5
St.3	42-30	139-40	瀬棚沿岸	42.2	23.1	196.7	44.4	87.3
St.4	43-00	140-00	島牧北方	8.6	23.74	54.1	4.3	28.8
St.6	43-00	138-40	積丹半島西方沖	16.2	7.1	5.6	4.2	9.6
St.8	42-30	137-40		--	--	--	5.0	--
St.10	42-30	139-00	瀬棚沖合	30.7	9.6	23.2	4.4	21.2
St.12	41-40	139-00	渡島大島西方	17.3	14.3	12.2	6.6	14.6
平均CPUE				23.6	20.7	49.2	14.2	31.2

で、過去3年の値を下回りました。各調査点の CPUE は 4.2 ~ 44.4 (昨年 3.4 ~ 196.7) の範囲にあり、全体として檜山海域沿岸で分布密度が高い傾向が見られました。最も分布密度が高かったのは昨年と同じ瀬棚近海 St.3 で、CPUE は 44.4 (昨年 196.7) でした。全体的に北上群の回遊経路は沿岸寄りとなっていると考えられます。ただし、後志海域沿岸の島牧北方 St.4 の CPUE は 4.3 で昨年 (54.1) を下回り、過去3年との比較でも最も低い分布密度となりました。

### 3. スルメイカの大きさ (図1、図2)

調査海域全体のスルメイカ外套長 (胴長) の範囲は 13 ~ 25cm (昨年 13 ~ 26cm、一昨年 12 ~ 22cm) で、最も多く出現したイカの大きさ (モード) は 18cm (昨年 21cm、一昨年 16cm) でした。全体的な魚体サイズは昨年より小さく、一昨年より大型でした。各調査点のモードの範囲は 14 ~ 25cm (昨年 18 ~ 22cm) にありました。

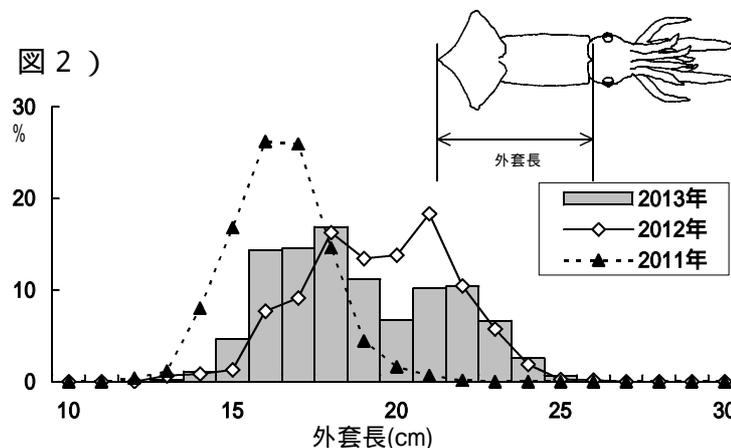


図2 調査海域全体の外套長組成

### 4. 標識放流 (図3)

調査期間中の6月23日、瀬棚沿岸 St.3 で 1,589 尾の標識放流を行いました。標識は裏面に「JPN」、表面に「P00 ~ P16」の番号が記載された黄色アンカータグです。標識のついたスルメイカを再捕された方は最寄りの水産試験場まで報告いただきますよう、よろしくお願ひします。

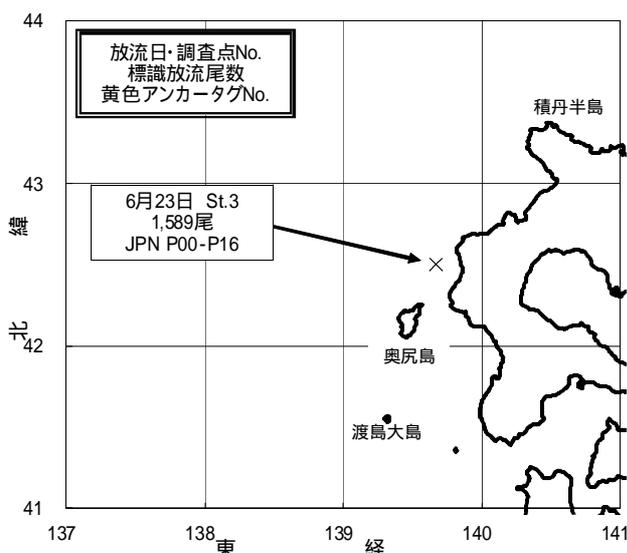


図3 標識放流の位置・放流日・尾数及び標識番号

(函館水産試験場調査研究部 TEL: 0138-57-6056 直通、FAX: 0138-57-5991)